

材器用破爆										材器道鐵				品目	受領數	三〇飛大	五〇飛大	三〇飛中	摘要
藥包	小絡車	一號裂(內容品)	導通試驗器	短導電線	長導電線	九九式爆藥缶	九三式電氣臭火機	輕便手押台車	枕	輕便轉轍軌區(左右)	士封度軌條用接續木下	十二封度軌條接板	鐵道						
2	4	1	2	4	1	2	2	50	3600	4	3770	1868							
1	2	1	1	2		1	1	20	1440	2	1528	746							
1	2		1	2	1	1	1	20	1440	1	1508	746							
								20	720	1	754	376							

材器量測										材器工水																	
十二封度軌區	十二封度軌條	十標米卷尺	中測柱板	携帶測角器	小目鏡	大目鏡	曲尺	中山	大山	鉋	鎌	斧	四臂築頭	十二封度軌區	十二封度軌條	十標米卷尺	中測柱板	携帶測角器	小目鏡	大目鏡	曲尺	中山	大山	鉋	鎌	斧	四臂築頭
100	736	2	2	2	20	20	0	10	20	30	30	30	2	100	736	2	2	2	20	20	0	10	20	30	30	30	2
40	292	1	1	1	8	8	1	4	8	11	18	11	0	40	292	1	1	1	8	8	1	4	8	11	18	11	0
40	292	1	1	1	8	8	1	4	8	11	15	11	0	40	292	1	1	1	8	8	1	4	8	11	15	11	0
20	152	1			4	4	1	2	4	8	14	8	2	20	152	1			4	4	1	2	4	8	14	8	2

附表第一

自到  
起工

考 備

一 刻  
一 状  
一 配

- 六、火災予防 民家ヲ借上ケ除後仕末ヲ十分ニ行フコト
- 六、成ルヘク兵ト一般民衆トハ同一場所ニ働ク事ヲ避ケシムルコト
- 六、疲労ニ對スル慰安方法ヲ工夫スルコト
- 三、飛行場ノ直轄警戒及警備特ニ防空ノ萬全ヲ期スルコト

附表第一

自到  
至作業開始

行

事

豫

定

目次

行

九

航

地

事

五

〇

飛

大

又

船内ニ隊長ニ集メ宿營及先發ニ關スル指示  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

又

機行器材ノ調査  
機行器材ノ調査

備

考

一、到着日ヲ入  
状況ニ依リ船舶スルコトアリ  
既布光  
at  
Jac

為。各領者ニ重司令訂

豫

五〇

隊長長官司令官報告

爲... 總領者... 軍司令官... 報告

上 副官 經理官 參加

上 先發者 參加

上 將校 全員 參加

上 先發者 參加

上 參 受領 (農學校)

上

上 上

定

飛

大

表

定

三

飛

中

第十九航空地一區司令部  
昭和十九年四月二十五日

← 開展 →  
合 合

← 合 →

合 合

合 合 合

上 合 合 合

合 合 合

上 上

上

上 上

上 上 上

上 上 上 上

上 上



十九航地司作命第二號

第十九航空地區司令部命令

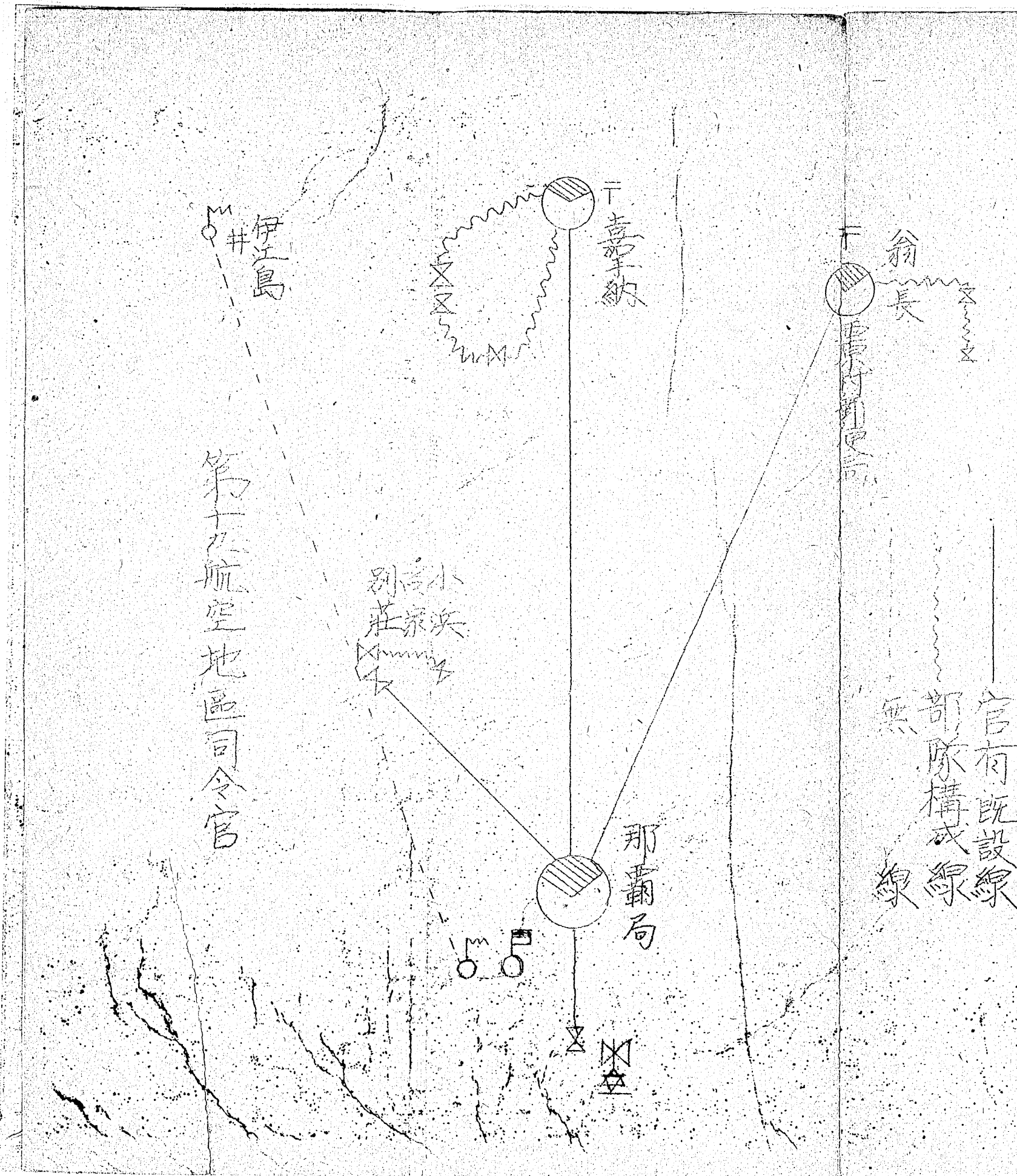
四月二十日六〇〇  
那霸開洋會館

一、球作命申第四號第三十二軍命令之基、第十九航空地區司令官、指揮下部隊、別紙要領、依り展開スベシ

二、展開後、通信連絡ノ左如ク構成スベシ

備考

官有既設線  
部隊構成線  
無線



第十九航空地區司令官

本部

部 隊 名	展 開 地	兵 力	貨 自 動 機 輛 壓	宿 營 地	展 開 要 領
第三飛行 場中隊ノ 主力	沖繩 南飛行 場		3	小 尚 別 灣 家 莊	四二四先發者派遣 四二六迄三全員到着
同一部	同東飛行場	92	2	伊 尚 別 保 家 莊	同 右
第五口飛 行場大隊 ノ主力	伊 江 島		9-	兵 營 及 燃 料 倉 庫	四二四一部ヲ伊江島渡久 地ニ先行セシム 四二五S二七ノ間ニ主力ハ陸路渡 久地前進シ到着後ニ逐次海 上輸送ヲ以テ伊江島ニ展開ス 渡久地至行軍ニテ軍司令部 及地區司令部運送終上自隊 ニ於テ計畫實施スルモトス
要塞建築 勤務第六 中隊ノ主力	沖繩	103	5	農 林 學 校 講 堂	四二四先發者派遣 四二六迄三全員到着
要塞建築 勤務第六 中隊ノ一部	中 飛 行 場	約140			

備考  
一 伊江島ニ展開スル第五口飛大主力ノ當初不要ニ於テ沖繩中飛行場  
ニ残置スルモトス  
二 渡久地ニ到ル間自動貨車ハ中飛行場展開スル飛大モトテ適宜  
増加使用シテ可ナリ  
三 展開ノ為ニ行軍並ニ隊屬貨物輸送ハ自隊輸送機間ヲ以テ實  
施スルモトス  
但シ沖繩東及中飛行場展開部隊全士ニ於テ隊屬貨物輸送ノ費用一  
四日以後沖繩輕便鐵道(各一日列車)ヲ利用スルモトス

軍令 第一〇三號 陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍省 陸軍大臣 陸軍省 陸軍大臣

月

日

四月十五日

天

候

雲天

命

置

那霸開洋會館  
別紙日々命令下達

行動概要

一 地區司令部ハ司令官青柳中佐以下劣ヲ以テ作戰諸  
準備ヲ實施セル外夫々左業務ニ從事スリ  
スロハヨリ中尾見習士官以下ハ器材却下為那霸  
埠頭ニ至ル

二 一〇〇地區司令官青柳中佐ハ各指揮下部隊長ヲ開  
洋會館ニ集合セシメ作戰命令下達及航空基  
地設定ニ關シ所要教育ヲ實施ス一二言終了  
以新名中尉以下ハ開洋會館在リテ各部隊連絡  
等作戰業務ニ從事セリ  
三 年菴主計大尉以下ハ各部隊ヲ携行糧食却下並





勤務員

分配不平等之經理業務ニ從事セリ  
 外所軍醫大尉ハ器材部下ニ於ケル救護班長トシテ  
 知能埠頭ニ在リテ各部隊ノ衛生機關ヲ指揮シ  
 衛生業務ニ從事セリ  
 日直士官 木部中尉  
 日直下士官 五味曹長  
 地區司令官青柳中佐以下四三名

左記通リ米週日直勤務ニ服務ス  
 左記

月日 日直士官 日直下士官  
 胃曹 木部少尉 天崎曹長  
 二曹 洲上准尉 中山曹長  
 二曹 午菴大尉 野崎曹長  
 二曹 外所大尉 五味曹長  
 二曹 新名中尉 岡原曹長  
 二曹 中尾見習士官 川又曹長  
 二曹 高島中尉 松井軍曹  
 二當分 間日課時限ヲ左記通リ定ム  
 起床(吳呼) 大  
 朝食 七三



作業始  
 診断  
 會報  
 夕食  
 夕食  
 日夕  
 消燈  
 吳呼

八	八	七	五	二	一	二
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽

月 日  
 天 候  
 位 置  
 命 令  
 行 動 概 要

四月二十四日

曇 天 一時猛雨

邦霸開洋會館

別紙目命令下達 第三章命令第四號受領

一 地區司令部主力ハロロ全員起床シ器材却下ノ

爲第一機橋ニ到ルモ 雨量多ク作業ヲ開始スルニ至

ス 第一機橋ニ於テ待機ス

二 一三〇ヨリ快晴トナリ輸送各部隊方ハ器材却下ヲ

開始セリ

三 地區司令部ハ干菴主計大尉以下主力ハ器材却下ニ

協力セル外 一部ハ左ノ業務ニ従事セリ

ハ白高軍曹以下三名ハ飛行場ニ到リ飛行機整備

ヲ實施セリ

乙 前田軍曹ハ業務連絡ノ爲第三章司令部ニ



勤務人員

到儿

日直士官

刈上准尉

日直下士官

矢崎曹長

地區司令官青柳中佐以下 四三名

第十九航空地  
陸軍中尉

區司令部  
陸軍少尉

木部

四月二日  
四月五日

四月十五日附